

編集後記

<編集顧問>

鈴木 秋悦
武田 佳彦
青野 敏博

<編集委員>

岡井 崇
神崎 秀陽
倉智 博久

大阪や東京では満開の桜は入学式のイメージです。最近は気温が上昇したためか、入学式の前に満開となり、年によっては散ってしまうこともあります。やはり桜は入学式の象徴です。記憶は定かではありませんが、入学式に出席する親子が、校門前の満開の桜の下で撮った写真が教科書にも載っていたようにも思います。

東北や北海道ではこのイメージは通用しにくいようです。南東北でも、桜は4月後半です。北東北ではゴールデンウィーク中が満開です。2009年のゴールデンウィーク全国一の人出は弘前の桜祭りと予測されています。あの弘前に220万人もの人出があればどうなるのだろうと、余計な心配をしていますが、大阪出身で山形に住んでいますと、花と行事のイメージにずれがあって興味深く感じます。

東北地方では、満開の桜の時期にまだ雪が残っていたり、なごり雪が降ったりもします。また、多くの花が春を待ちわびていたように一気に咲くのも印象的です。梅と桜の開花時期が近く、ほとんど同じ時期に咲きますし、この季節は、「はなみずき」や「こぶし」、「もくれん」なども一斉に咲いて華やかです。

最近の地球の温暖化の影響でしょうか、ここ数年は山形でも4月前半には桜が咲く年が続いています。そのうちに、東北地方でも入学式に桜が満開になるかも知れません。

(倉智 博久)